

様式1(主な取組)

活動指標名	ふるさと農村活性化基金事業支援地区数				R2年度			R2年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		44地区 (11地区)	52地区 (8地区)	65地区 (13地区)	77地区 (12地区)	89地区 (12地区)	91地区 (14地区)	97.8%	5,039	順調
活動指標名					R2年度					
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果		
								令和2年度は、12地区に対し支援を行い累計は89地区となった。令和3年度までに目標の100地区を達成する見込みであり、取組は順調である。		
活動指標名					R2年度			支援した地域においては、農村環境の保全管理活動や地域イベントに、多くの若者や子ども達が参加し地域間の交流や世代間の交流が図られており、将来の地域リーダー育成に貢献した。		
実績値	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和2年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動を推進する人材の育成・確保に繋がる効果的な計画を作成している地域を優先的に支援するため、ヒアリングなどを行う。 ・「沖縄ふるさと百選」等で認定を受けた地域、団体を中心として農山村地域の保全活動及び地域の活性化を図る。 						<ul style="list-style-type: none"> ・県内5地区に分けてヒアリングを実施し、地域活動を推進する人材の育成・確保に繋がる効果的な計画を策定しているか確認した上で、支援の決定を行った。 ・「沖縄ふるさと百選」認定団体に事業実施の案内を行った結果、新規地区の募集があり、農山村地域の保全活動及び地域の活性化を図られた。 				



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

内部要因	外部環境の変化
<ul style="list-style-type: none">・農山漁村活性化の一環として沖縄県が実施している「沖縄、ふるさと百選」認定事業など、他の地域支援事業の取組とも連携し事業執行する必要がある。	<ul style="list-style-type: none">・高齢化等の課題があるため、実施地区に大きな伸びはないが地域におけるリーダーの育成や掘り起こしが必要である。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・他の地域支援事業の取組との連携を強化するとともに、農山漁村活性化に向けた新たなイベントの開催等を検討する必要がある。
- ・人材育成は複数年度に渡り支援する必要があることから、地区における活動報告会等を通して地域の意見をきめ細かに把握し、効果的な活動計画を作成している地区を優先的に支援する必要がある。



4 取組の改善案 (Action)

- ・農山漁村の活性化に向けた調査研究・普及啓発に向けた取組を実施する。
- ・「沖縄ふるさと百選」等で認定を受けた地域や効果的な活動計画を作成している団体を優先的に支援していく。